

関連法規等	本校の教育目標	児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・東京都教育委員会の教育目標 ・多摩市教育委員会の教育目標 	<ul style="list-style-type: none"> ◎実行する子 ○思いやりのある子 ○健康な子 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な学習内容を概ね習得している。 ○他者との関わりや協働的な学びを通して、自分の考えをもっている。 ●主体的に学習に取り組む態度をより一層身に付ける必要がある。 ●自分の考え発表したり、相手に伝えたりすることに自信がもてない。

目指す児童像	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに自信をもち、よりよい解決策を考える。 ・広い視野をもち物事の見方を変えて考えることができる。 ・相手の立場を考えて行動することができる。 ・自ら学習活動を振り返って次につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって計画を立てられる。 ・自分の考えをまとめて伝えることができる。 ・物事に粘り強く取り組む。 ・すすんで他者のために行動する。

学力向上に向けた授業改善の重点		
誰もが「分かる」「できる」授業の実践	主体的に学習に取り組む態度の育成	校内研究・校内研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○授業のユニバーサルデザイン化によるねらいと学習内容の明確化。 視覚的効果による学習環境の充実 ○「東京ベーシック・ドリル」の活用による基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 ○まとめの時間、自分の考えを発表する時間の設定による学習の定着化 ○身に付けた力を生活の中で活用するための知識と体験活動の融合 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入→展開→まとめの学習過程を繰り返す、学習の見通しをもたせたことによる学習意欲の向上 ○算数科における習熟度別少人数指導による学習定着度に応じた指導の工夫 ○児童の特性、学習の進度、学習定着度に合わせた一人一台タブレット端末等の活用 ○学習課題を共有及び対話や議論を通じた問題解決場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究主題「かかわり、つながりを大切に、考え実行する子」の授業研究による授業力の向上（東京都授業改善推進拠点校） ○互いに授業を見合い、指導法について協議する教員間の学び合い ○全教員が研修講師となる○J T研修 ○単元全体を見通した指導と評価の一体化

学習習慣を身に付ける取組	ESDの推進
<ul style="list-style-type: none"> ○日記・音読・漢字練習・計算練習を基本とする家庭における自主学習の奨励 ○「東京ベーシック・ドリル」「ミライシード」の継続的な活用 ○自分の考えの筋道が分かるノート指導 ○読み聞かせや読書活動の充実、朝学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「粘り強く課題を解決する力」「思慮深く考える態度」「考えたことを行動に移す力」を意識した学習の展開 ○他教科との関連を図ったカリキュラム・マネジメントの充実 ○総合的な学習の時間を中心とした問題解決的学習による思考力・判断力・表現力等の向上
学習環境整備	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台の端末、プロジェクタ等のICTの活用 ○学習内容が分かるような板書、発表の仕方の工夫 ○「めあて」「自分の考え」「友達の考え」「まとめ」「振り返り」学習の足跡が分かるカードの掲示 ○ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師や地域の人材を活用した地域未来塾による補習学習 ○学力向上の効果を家庭や地域へ周知・連携協力 ○保護者・地域学校関係者評価における学力向上項目の実施 ○地域学校協働本部によるマンパワーの活用